



東京立川 ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 渡辺博昭副委員長

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【次年度委員長発表】

清水淳一会長エレクト

【幹事報告】 田中 太幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 松島 孝委員

【出席率の発表】

出席委員会 荒口 仁副委員長

【卓話講師紹介】 プログラム委員会

宇都木健太副委員長

【卓話】 公財)東京オリンピック・パラリンピック

競技大会組織委員会、ボランティア・アドバイザー

会議アドバイザー、(公財)日本財団パラリンピック

サポートセンター常務理事 小澤 直様

【閉会点鐘】 中野裕司会長

Weekly Report

2018.4.13 第2788回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

今日は、何のお話をしようかと考えていました。この浅学非才な私が、ただ何か文献をあさって発表したところで、眠くなるだけなので私自身の何かに接点があり精通していることがあるものを探してみたところ、面白い接点を見つけました。

今日はローマ字について少し話したいと思います。ローマ字というと、ヘボン式標準式英語式と分類されます。最近自分として誇らしく感じる事は、ヘボン式ローマ字の創始者ジェームス・カーティス・ヘボンが、明治19年(1886年)に出来た私の母校「明治学院」の創立者だという事です。医師であり、宣教師で、幕末・明治の日本において病人の治療を行うとともに、英語を教え、ヘボン式ローマ字を創始した事で知られています。「Do for others」の精神「Do for others what you want them to do for you. (人にしてもらいたいと思うことは何でもあなた方も人にしなさい)」という事を伝えた人です。因みに、明治学院の院歌もヘボン博士が作られたそうです。最後にヘボン式・標準式・英語式ローマ字の取り決めの違いを幾つか例に挙げます。

【ヘボン式】 撥音(鼻音)ん(ン)は「n」で表します。但し、b・m・pの前の撥音は「m」にします。

(例) Onsen=温泉 Shimbun=新聞

撥音の次に母音または「y」が続く時は、ハイフン(-)で区切ります。(例) Hon-ya 本屋 促音(ッ)はつぎの子音を重ねます。但し「ch」の前の促音は「t」にします。(例) Kitte 切手 Itchi 一致 長音(-)は延ばす母音にマクロン(ˉ)をのせます。(例) Kibō 希望、Tōkyō 東京

【標準式】 撥音の次に母音または「y」が続く時は、切る印(´)でくぎります。

(例) Hon'ya 本屋 長音(-)は延ばす 母音に山形のマーク(ˆ)を乗せます。

(例) Kibō 希望 Tōkyō 東京

【英語式】 撥音の次に母音または「y」が続く時も区切りの記号を書きません。(例) Honya 本屋

長音(-)は長音符号を書きません。(例) Kibo 希望, Tokyo 東京

以上3通りのローマ字の中で、英語式が最も良く使われている方式です。企業のロゴタイプ、パスポート、道路標識、案内標識などのローマ字も英語式が多いようです。本来なら尊敬すべきヘボン博士の作ったヘボン式ローマ字を日常使わなければならない所ですが、時代の流れには逆らえず英語式を使っています。「ヘボン博士、ゴメンナサイ！ 貴方の偉業は大いに尊敬しています。」みなさんも是非、広告物や標識など、ちょっと注意して観て頂くと、稀にヘボン式や標準式に出会うかもしれませんので、見ましたら教えて下さい。



中野裕司会長

4月13日(金)	会 員 数	109名
	出席義務会員	102名
	出席免除会員	6名
	当日出席者	88名
	出席免除会員の当日出席者	2名
	出席率	84.62%
	3月30日の出席率	休 会

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライスリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



司会進行
渡辺博昭副委員長



ニコニコ発表
松島孝 委員



出席率の発表
荒口 仁副委員長



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様の紹介】 中野裕司会長

卓話講師：小澤 直様

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
ボランティア・アドバイザー会議 アドバイザー
(公財)日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事

望月耕次様(東京日本橋RC、国際ロータリー第2750地区
スポーツ・文化支援委員会委員長)

橘高薫子様(東京日本橋RC、国際ロータリー第2750地区
スポーツ・文化支援委員会副委員長)

【次年度委員長発表】 清水淳一会長エレクト

清水淳一さん	会長
長井 守さん	会長エレクト
横手好一さん	会長ノミニー
平井洋孝さん	幹事
宮崎昭人さん	会計
織原寛一郎さん	SAA委員長
鈴木 誠さん	職業奉仕委員長
松浦孝治さん	社会奉仕委員長
大竹茂明さん	国際奉仕委員長
中島孝昌さん	青少年奉仕委員長
三浦 哲さん	親睦委員長
中野裕司さん	直前会長・副会長
中山賢一さん	副幹事
鈴木祥祐さん	監査
山下隆仁さん	会員増強・分類委員長
坂村英之さん	会員選考委員長
清水千春さん	R情報・雑誌委員長
渡邊達也さん	クラブ会報委員長
小佐野茂樹さん	広報委員長
肥沼俊男さん	出席委員長
益子悦雄さん	プログラム委員長
鈴木孝一さん	環境保全委員長
布施 明さん	ロータリー財団委員長
木村政人さん	米山奨学委員長



【幹事報告】 田中 太幹事

●4月10日(火)社会奉仕委員会炉辺会合が無門庵にて開催。●4月12日(木)東京小金井RC55周年記念式典が小金井宮地楽器ホールにて開催され、会長幹事にて出席。●4月16日(月)18:30より、第5回クラブ協議会がホテル日航立川東京にて開催予定。●4月17日(火)R情報・雑誌委員会炉辺会合が、石炉端にて開催予定。●4月19日(木)東京昭島RC創立50周年記念式典が開催予定。16:30記念式典、18:00祝賀会。●テーブルの上に「ハイライトよねやま 4月号」配布。●第2800地区山形立川ロータリークラブが、本年6月30日をもって解散決定の報告。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 松島 孝委員

- スポーツ・文化支援委員会 望月耕次様、橘高薫子様 オリパラにご理解を頂き有難うございます。5月6日にロータリアンに向けたパラスポーツ体験会を実施します。是非ご登録をお願いします。
- 中野裕司会長 (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、ボランティア・アドバイザー会議 アドバイザー、(公財)日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事 小澤直様のご来訪を祝して。本日の卓話、宜しくお願い致します。
- 田中 太幹事 御来訪いただきました卓話講師、小澤様の卓話、楽しみにしておりました。本日はよろしくお願い致します。
- 安藤明義さん 四月十一日、弊社創業七十周年記念式典に際し、多くの会員の皆様のご臨席賜り、又過分なお気遣いまで頂戴し誠に有難うございました。この感動を忘れず、皆様に感謝申し上げます。当日は何かと不行届きの点があったかと存じますが、慶事に免じてお許し願います。
- 伊藤平八朗さん 砂川建設株式会社創業70周年のお祝、誠に有難うございました。貴社の今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。
- 榎戸岩雄さん 安藤明義さん、創業七十周年おめでとうございませう。歴史の重みを感じます。更なるご発展をお祈り申し上げます。
- 田中宏明さん 先日の砂川建設(株)の創立70周年の記念式典は大変お世話になりました。今後のご発展を心よりお祈り申し上げます。
- 布施 明さん 今年も立川フラメンコの季節となりました。5月2日(火)場外馬券場A館で前夜祭、5月3日(水・祝)すずらん通りで、500名のダンサーが一斉にセビジャーナスを踊ります。詳細はチラシをご覧ください。皆様のご来場をお待ちしております。
- 田中清次郎さん 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。
- 金原宏和さん 一昨日、安藤明義会長の砂川建設創立70周年祝賀会に、出席させて頂きましたが、素晴らしい祝宴でした。誠に有難うございました。結婚披露宴数件分の500名を超える宴席で金松総支配人も、さぞお喜びの事でしょう。お招き頂きありがとうございました。
- 増田太一さん 誕生日記念のお祝いありがとうございます。
- 矢澤俊一さん 小澤様、本日の卓話楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願いします!



本日合計 51,000円 本年度累計 2,438,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 宇都木健太副委員長

1974年生まれ。埼玉県の中高一貫全寮制の学校で学ばれ、高3の夏に甲子園出場。早稲田大学野球部でプレーされた後商社に就職。その後、アメリカマイナーリーグでのインターンを経てオハイオ大学大学院でスポーツビジネスを学ばれました。メジャーリーグでのインターン中に日本財団と出会い、2002年に入会。秘書室長などを経て、2015年5月に公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター、2017年9月に一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンターを設立し現在に至ります。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ボランティアアドバイザー会議アドバイザーもお努めになられております。本日は、「スポーツを通じて社会を変える!」と題して卓話頂きます。2020年東京オリンピック・パラリンピックも2年後に迫り、地域或いは個人とオリンピック・パラリンピックとの関わりについても触れて頂けると幸いです。



卓話「スポーツを通じて社会を変える!」

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、
ボランティア・アドバイザー会議 アドバイザー、
(公財)日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事

小澤 直様

皆様は、今までなかなかパラリンピックをご覧になる事は少ないと思いますが、2年後には東京にやってきます。実はこのパラリンピックは世界で3番目に大きい大会で、一番は勿論オリンピック、二番はサッカーワールドカップ、そしてこのパラリンピックなのです。ロンドンパラリンピックでは実に270万人の観客を動員してしまし、東京でも同程度の動員を目指しております。現実問題としてほとんどの皆様が「障害者スポーツ」という物をご存知でないでしょうし、注目もされておりました。そのような中、何とかサポートに入ろうという事で、日本財団パラリンピックサポートセンターが入った訳です。当センターの活動は大きく分けて二つありまして、一つはパラリンピック競技団体のサポート、もう一つはパラスポーツを通じて社会を変えていくというプログラムの実施です。当オフィスにはリオ、平昌、東京パラリンピックに関連する団体が31団体あり、その中の28団体が入って一緒に活動しておりました。3年前のスタート時の話しを関連団体に聞きますと、殆どの団体のスタッフはボランティアでありました。そのような状態で東京を迎えられるのだろうかという焦り、東京に集まって頂いて現在は年間4億円程度の資金を投入して、雇用の維持や広報



費用に充てたり、任意団体から法人化を図る等のサポート、キャパシティビルディングと言って、バックオフィスの各団体の会計や法務・税務、翻訳等を一手に無償で引き受けるサポートもしております。現在3年経ちまして、一定程度の事務局体制は整いましたが、未だに約4割の団体が専従の職員が1人以下という状況であります。またスポンサーについては、大企業も大変興味を持って頂いておりますが、どうしてもメジャースポーツに偏る傾向にあり、約4割の団体が未だにスポンサーが1社以下という現状です。平昌パラリンピックの結果として、メダル獲得はソチの6個から10個に増えたのですが、内訳としては村岡選手が一人で5個を獲得しており、彼女がいなくてどうなっていたかと思うと怖さを覚えます。また選手の高齢化という面で考えると、アイスホッケーの代表選手の平均年齢は42歳で、普通なら息も続かない程過酷な状況だと理解できると思いますが、一方アメリカの平均年齢はその約半分という事で、単純に障害者スポーツに課題がある事もありますが、社会全体がこの様な状況を生んで来てしまったのではないのでしょうか。

我々が障害のある方を見る時というのは、どうしても「出来ない」部分に目が行ってしまいがちですが、障害者のメッセージとしては「我々は出来るのだ」という思いが強いです。障害者のスポーツ実施状況としては、週一回以上というのが健常者の半分以下、全くしていないというのは成人の健常者の三倍という事です。ここでの課題も幾つかありますが、まずはパラスポーツが出来る環境が無いという事で、体育館でも車椅子禁止の場所も多い、またダイバーシティ(多様性)を尊重し共生社会を作っていくべきという事を、健常者が理解していないという事もあります。現在東京パラリンピックでの動員目標270万人については必達事項ではありますが、調査では実際にパラリンピックを観戦した経験があるのは実に1%以下、また実際競技自体を知っていますかという事についても6割を超える方々が認知に至っていないというのが現状です。この様な中で様々な対策を講じておりますが、来月お台場の船の科学館内にパラスポーツ専用の体育館が完成予定となっております。何故建てる事になったかと申しますと、現在私は所沢在住ですが、地元のラグビーチームが練習の為に栃木まで移動しているといったケースが多くあり、その状況を一刻も早く打破するがためであります。ダイバーシティ&インクルージョンの理解に向けた教育プロジェクトも進めております。また小学生向けにはパラアスリートが全国の小学校を訪問して、体験と講話をするプログラムを実施したり、教師の方々にもキットを見ればパラリンピックやダイバーシティについて教えられるようになるプログラムの構築等も行っております。それ以外に大人の方向けとしてダイバーシティ&インクルージョンの理解に向けたセミナーとして「あすチャレ!Academy」というプログラムを持っており、これは

講師全員が障害者であります、この方達の生の声・考え方等をお聞き頂き理解を深めて頂きたいという内容であります。また「あすチャレ!運動会」は、企業で実施される運動会をパラスポーツの種目に変えてしまいませんかという物で、現在自治体や企業から申し込みを多く頂いております。自治体からの申し込みが得に多いのですが、これはパラスポーツが大人から子供まで、また障害者も含めてあまり差が無く対決が出来る特徴を有しているからであります。またもう一つご紹介させて頂きたいのは、パラスポーツメッセンジャーとって、東京2020年開催が決まってから様々な講演の機会が増えていく中、パラアスリート自身が急に話出来るようになるわけではないので、スピーチトレーニングを重ねております。もし講演のご依頼があれば、メダリストの派遣も出来ますので是非ご連絡頂ければ幸いです。その他芸能人の方をお招きして、障害者駅伝大会として駒沢公園に約18,000名が集まって頂き、パラスポーツへの理解を深める機会として開催したり、音楽に関心のある方々に集まってもらってイベントを開催したり、写真家の蜷川実花さんによる、パラリンピアンメダリストをファッションモデルとして起用し、写真集を発売する事で、パラリンピック・パラスポーツへの理解と興味を持って頂く事もしています。

続いてボランティアについてですが、育成事業を含む様々な事業を当サポートセンターにおいて実施しておりますが、2020年についての募集が間もなく始まります。今回は大会ボランティアと都市ボランティアの募集となりますが、大会ボランティアというのは観客サービス・競技運営・メディアのサポートであり、東京2020組織委員会が運営する物です。それに対して約80,000名の募集を9月中旬からかけます。都市ボランティアの方は東京との管轄となっており、オリンピック・パラリンピックの予選等は当然全国での開催となりますので、その管理等も都市ボランティアとなっており、その他国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び競技会場の最寄駅周辺における観客への案内なども担いますが、こちらは約30,000名が必要となっております。合計で約110,000名ですが、過去の他の大会での状況を見ますと、約24~25万名の応募が来ておりますが、その中から書類審査・面接を経て11万名に絞るという作業が生じます。ロンドンの際はボランティアの評判が非常に良かったのですが、この時は「ボランティア」という呼び方でなく、途中から大会ボランティアを「ゲームズメーカー」、観光ボランティアを「アンバサダー」と呼ばれており、これはオ

リパラを作る重要な一人であるという意味合いが込められておりまして、実はこの名前についても当会では新しいネーミングの検討に入っております。そして日本でもボランティアに対しての考え方が変わってきておりまして、東京マラソンでのデータですが第1回大会の際は、1万名のボランティアを集めるのに86日掛かっておりましたが、第6回大会では1日で1万名を集める事が出来ました。現在となつては抽選となっております。ただここで一層のご理解を頂きたいのですが、今ブラックボランティア、無償の労働といった言葉が方々で聞かれております。ではそもそもボランティアというのは、語源としてラテン語の「ボランタス(Voluntas): 自由意思・意欲」から来ており、そこには無償性や社会性といったものは存在せず、東日本大震災の際には「何かをしなければいけない」「助けなければいけない」といった「自発的」な社会参加活動の事を指しているのが良くお分かり頂けたと思いますので、ブラックボランティアや無償労働といった言葉が出る事自体おかしな話であると思います。そして2020年に向けての教育プログラムを構築している中で、やはり日本人としての大きな問題は、ダイバーシティ&インクルージョンという事で、外国人慣れ、障害者慣れをしていない、宗教について理解をしていない等々をいかに教育していくかという事が大事になってきています。是非皆様にもご理解を深めて頂く為に、「オリンピック・パラリンピックのボランティア」とはどういう物なのかという講演を行なったり、スポーツボランティアネットワークさんという団体が、スポーツボランティアの研修をされていたり、先程ご紹介した「あすチャレ!」もありますのでご参加頂けたらと思います。来年にはラグビーのワールドカップの開催も控え、その際にも多くのボランティアが必要になりますので、併せてのご協力を頂けたらと思います。最後に当会のホームページにパラスポーツの競技日程等が出ておりますので、是非観戦して頂きたく思っております。というのはパラリンピックでの日本戦は間違いなく満席となるでしょうが、普段その様な雰囲気の中で選手が競技をする事はありませんので、極度に緊張をしてしまう事が予想されます。ですので今からそれに近い環境に慣れて頂く為には、皆様に観戦して頂く必要があるのです。特に視覚障害者のスポーツというのは、大勢の観客がいる事で、例えば球技はボールに入っている鈴の音を頼りに動く中、音が大変聞こえづらくなりますので、普段からその状況に慣れていく必要性が高いのです。是非皆様お誘い合わせの上観戦頂けたら幸いです、宜しく願い申し上げます。

■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL : 042-527-1111
■ 例会日／金曜日 12 : 30点鐘
会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長